

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)浜松市天竜川計画 新築工事	階数	10階
建設地	静岡県浜松市東区和田町字野下70	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内,市街化区域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年11月15日
敷地面積	1,976 m ²	作成者	加藤 光彦
建築面積	630 m ²	確認日	2022年11月21日
延床面積	4,575 m ²	確認者	加藤 光彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮し、外皮等級・一次エネルギー等級4を満たし環境配慮致しました。		
Q1 室内環境 F★★★★をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。	Q2 サービス性能 給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー 外皮性能を等級4仕様とし、熱負荷抑制へ配慮しています。設備に関してBEI=0.84とし、高効率設備の導入し、環境負荷への配慮をしています。	LR2 資源・マテリアル LGSを採用しています。	LR3 敷地外環境 LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています。敷地内に十分な駐車場、駐輪場を設けています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	(仮称)浜松市天竜川計画 新築工事	BEE	1.4	BEEランク	B+	★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.7 /5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.1 /5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9 /5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目																																																																																																																																																																																										
	得点																																																																																																																																																																																										
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.7																																																																																																																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ②カーテン・庇による昼光制御 ④タイル貼りにすることで耐用年数が40年となります。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦十分な断熱材を設け等級4の基準値を確保しています。 ⑨LED照明等、高効率設備を積極的に導入しています。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節湯効果の高い水栓を採用しています。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭外皮・一次エネともに等級4の基準値を満たしています。 	<table border="1"> <tr> <td>Q-1</td> <td>2</td> <td>2.1</td> <td>2.2</td> <td>①</td> <td>外皮性能</td> </tr> <tr> <td>Q-1</td> <td>3</td> <td>3.1</td> <td>3.1, 3.2</td> <td>②</td> <td>昼光利用設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.2</td> <td>3.2, 1</td> <td>③</td> <td>昼光制御</td> </tr> <tr> <td>Q-2</td> <td>2</td> <td>2.2</td> <td>2.2, 1</td> <td>④</td> <td>躯体材料の耐用年数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.2, 2</td> <td>2.2, 2</td> <td>④</td> <td>外壁仕上げ材の補修必要間隔</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.2, 3</td> <td>2.2, 3</td> <td>④</td> <td>主要内装仕上げ材の更新必要間隔</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.2, 4</td> <td>2.2, 4</td> <td>④</td> <td>空調換気ダクトの更新必要間隔</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.2, 5</td> <td>2.2, 5</td> <td>④</td> <td>空調・給排水配管の更新必要間隔</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.2, 6</td> <td>2.2, 6</td> <td>④</td> <td>主要設備機器の更新必要間隔</td> </tr> <tr> <td>Q-3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>⑤</td> <td>生物環境の保全と創出</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>3.2</td> <td></td> <td>⑥</td> <td>敷地内温熱環境の向上</td> </tr> <tr> <td>LR-1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>⑦</td> <td>建物外皮の熱負荷抑制</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>⑧</td> <td>自然エネルギー利用</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>⑨</td> <td>設備システムの高効率化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>4.1</td> <td></td> <td>⑩</td> <td>モニタリング</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4.2</td> <td></td> <td>⑩</td> <td>運用管理体制</td> </tr> <tr> <td>LR-2</td> <td>1</td> <td>1.1</td> <td></td> <td>⑪</td> <td>節水</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2, 1</td> <td>⑪</td> <td>雨水利用システム導入の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.2, 2</td> <td>1.2, 2</td> <td>⑪</td> <td>雑排水等利用システム導入の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>2.1</td> <td></td> <td>⑫</td> <td>材料使用量の削減</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.2</td> <td></td> <td>⑫</td> <td>既存建築躯体等の継続使用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.3</td> <td></td> <td>⑫</td> <td>躯体材料におけるリサイクル材の使用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.4</td> <td></td> <td>⑫</td> <td>躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td></td> <td>⑫</td> <td>持続可能な森林から産出された木材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.6</td> <td></td> <td>⑫</td> <td>部材の再利用可能性向上への取組み</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>3.1</td> <td></td> <td>⑬</td> <td>有害物質を含まない材料の使用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.2</td> <td>3.2, 1</td> <td>⑬</td> <td>消火剤</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.2, 2</td> <td>3.2, 2</td> <td>⑬</td> <td>断熱材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.2, 3</td> <td>3.2, 3</td> <td>⑬</td> <td>冷媒</td> </tr> <tr> <td>LR-3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>⑭</td> <td>地球温暖化への配慮</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>2.2</td> <td></td> <td>⑮</td> <td>温熱環境悪化の改善</td> </tr> </table>	Q-1	2	2.1	2.2	①	外皮性能	Q-1	3	3.1	3.1, 3.2	②	昼光利用設備			3.2	3.2, 1	③	昼光制御	Q-2	2	2.2	2.2, 1	④	躯体材料の耐用年数			2.2, 2	2.2, 2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.2, 3	2.2, 3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.2, 4	2.2, 4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔			2.2, 5	2.2, 5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔			2.2, 6	2.2, 6	④	主要設備機器の更新必要間隔	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制		2			⑧	自然エネルギー利用		3			⑨	設備システムの高効率化		4	4.1		⑩	モニタリング			4.2		⑩	運用管理体制	LR-2	1	1.1		⑪	節水			1.2	1.2, 1	⑪	雨水利用システム導入の有無			1.2, 2	1.2, 2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無		2	2.1		⑫	材料使用量の削減			2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用			2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用			2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材			2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用			3.2	3.2, 1	⑬	消火剤			3.2, 2	3.2, 2	⑬	断熱材			3.2, 3	3.2, 3	⑬	冷媒	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
Q-1	2	2.1	2.2	①	外皮性能																																																																																																																																																																																						
Q-1	3	3.1	3.1, 3.2	②	昼光利用設備																																																																																																																																																																																						
		3.2	3.2, 1	③	昼光制御																																																																																																																																																																																						
Q-2	2	2.2	2.2, 1	④	躯体材料の耐用年数																																																																																																																																																																																						
		2.2, 2	2.2, 2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔																																																																																																																																																																																						
		2.2, 3	2.2, 3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔																																																																																																																																																																																						
		2.2, 4	2.2, 4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔																																																																																																																																																																																						
		2.2, 5	2.2, 5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔																																																																																																																																																																																						
		2.2, 6	2.2, 6	④	主要設備機器の更新必要間隔																																																																																																																																																																																						
Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出																																																																																																																																																																																						
	3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上																																																																																																																																																																																						
LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制																																																																																																																																																																																						
	2			⑧	自然エネルギー利用																																																																																																																																																																																						
	3			⑨	設備システムの高効率化																																																																																																																																																																																						
	4	4.1		⑩	モニタリング																																																																																																																																																																																						
		4.2		⑩	運用管理体制																																																																																																																																																																																						
LR-2	1	1.1		⑪	節水																																																																																																																																																																																						
		1.2	1.2, 1	⑪	雨水利用システム導入の有無																																																																																																																																																																																						
		1.2, 2	1.2, 2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無																																																																																																																																																																																						
	2	2.1		⑫	材料使用量の削減																																																																																																																																																																																						
		2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用																																																																																																																																																																																						
		2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用																																																																																																																																																																																						
		2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用																																																																																																																																																																																						
		2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材																																																																																																																																																																																						
		2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み																																																																																																																																																																																						
	3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用																																																																																																																																																																																						
		3.2	3.2, 1	⑬	消火剤																																																																																																																																																																																						
		3.2, 2	3.2, 2	⑬	断熱材																																																																																																																																																																																						
		3.2, 3	3.2, 3	⑬	冷媒																																																																																																																																																																																						
LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮																																																																																																																																																																																						
	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善																																																																																																																																																																																						
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9																																																																																																																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰更新必要間隔の長い配管を採用しています。 	<table border="1"> <tr> <td>Q-2</td> <td>2</td> <td>2.1</td> <td>2.1, 1</td> <td>⑯</td> <td>耐震性</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.1, 2</td> <td>2.1, 2</td> <td>⑯</td> <td>免震・制振性能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.4, 1</td> <td>2.4, 1</td> <td>⑰</td> <td>空調・換気設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.4, 2</td> <td>2.4, 2</td> <td>⑰</td> <td>給排水・衛生設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.4, 3</td> <td>2.4, 3</td> <td>⑰</td> <td>電気設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.4, 4</td> <td>2.4, 4</td> <td>⑰</td> <td>機械・配管支持方法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.4, 5</td> <td>2.4, 5</td> <td>⑰</td> <td>通信・情報設備</td> </tr> </table>	Q-2	2	2.1	2.1, 1	⑯	耐震性			2.1, 2	2.1, 2	⑯	免震・制振性能			2.4, 1	2.4, 1	⑰	空調・換気設備			2.4, 2	2.4, 2	⑰	給排水・衛生設備			2.4, 3	2.4, 3	⑰	電気設備			2.4, 4	2.4, 4	⑰	機械・配管支持方法			2.4, 5	2.4, 5	⑰	通信・情報設備																																																																																																																																																
Q-2	2	2.1	2.1, 1	⑯	耐震性																																																																																																																																																																																						
		2.1, 2	2.1, 2	⑯	免震・制振性能																																																																																																																																																																																						
		2.4, 1	2.4, 1	⑰	空調・換気設備																																																																																																																																																																																						
		2.4, 2	2.4, 2	⑰	給排水・衛生設備																																																																																																																																																																																						
		2.4, 3	2.4, 3	⑰	電気設備																																																																																																																																																																																						
		2.4, 4	2.4, 4	⑰	機械・配管支持方法																																																																																																																																																																																						
		2.4, 5	2.4, 5	⑰	通信・情報設備																																																																																																																																																																																						
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.1																																																																																																																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑳階高2.9m以上とし、空間にゆとりがあります。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	<table border="1"> <tr> <td>Q-2</td> <td>1</td> <td>1.1</td> <td>1.1, 3</td> <td>⑱</td> <td>ユニバーサルデザイン計画</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>3.1</td> <td>3.1, 1</td> <td>⑲</td> <td>階高のゆとり</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.1, 2</td> <td>3.1, 2</td> <td>⑲</td> <td>空間の形状・自由さ</td> </tr> <tr> <td>Q-3</td> <td>3</td> <td>3.1</td> <td></td> <td>㉑</td> <td>地域性への配慮、快適性の向上</td> </tr> </table>	Q-2	1	1.1	1.1, 3	⑱	ユニバーサルデザイン計画		3	3.1	3.1, 1	⑲	階高のゆとり			3.1, 2	3.1, 2	⑲	空間の形状・自由さ	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上																																																																																																																																																																		
Q-2	1	1.1	1.1, 3	⑱	ユニバーサルデザイン計画																																																																																																																																																																																						
	3	3.1	3.1, 1	⑲	階高のゆとり																																																																																																																																																																																						
		3.1, 2	3.1, 2	⑲	空間の形状・自由さ																																																																																																																																																																																						
Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上																																																																																																																																																																																						
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9																																																																																																																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ㉒ブロックではなく、格子フェンスを採用することで防犯、まわりからの景観に配慮しています。 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑮敷地外に影響を及ぼさないよう、外部に漏れる照明を点滅させたり、また広告塔照明を設けたりしません。 	<table border="1"> <tr> <td>Q-3</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>⑤</td> <td>生物環境の保全と創出</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>㉒</td> <td>まちなみ景観への配慮</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>3.2</td> <td></td> <td>⑥</td> <td>敷地内温熱環境の向上</td> </tr> <tr> <td>LR-2</td> <td>2</td> <td>2.5</td> <td></td> <td>⑫</td> <td>持続可能な森林から産出された木材</td> </tr> <tr> <td>LR-3</td> <td>2</td> <td>2.2</td> <td></td> <td>⑮</td> <td>温熱環境悪化の改善</td> </tr> </table>	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出		2			㉒	まちなみ景観への配慮		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善																																																																																																																																																												
Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出																																																																																																																																																																																						
	2			㉒	まちなみ景観への配慮																																																																																																																																																																																						
	3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上																																																																																																																																																																																						
LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材																																																																																																																																																																																						
LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善																																																																																																																																																																																						